

令和2年度 当別町子ども発達支援センター保護者評価の結果について

お忙しい中、保護者の皆様には、アンケートのご協力ありがとうございました。次年度のセンターの指導等の充実に向けての方向性をお知らせいたします。

【評価対象事業】

- ・児童発達支援事業

【調査機関】

- ・令和2年12月7日～令和3年1月15日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター利用保護者

【回答率】

- ・配布数：21世帯、回収数：13世帯 回収率62%
- ・回答を分析し次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・センターの環境・体制整備、適切な支援の提供、保護者の相談に対する支援や満足度では概ね高い評価をいただいております。
- ・保育所や認定こども園等との交流や障がいのない子どもとの交流はあるかにつきましては、毎日園で交流しているというご意見が多かったです。
- ・今年度の保護者同士の連携支援は、コロナウイルス感染症の影響で、懇談会等が中止になったのは仕方がないことと納得していただいたと思います。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また発生を想定した訓練が実施されているかにつきましては、今年度は「いいえ」の回答がなく、浸透してきたのではと感じます。

【課題】

- ・高い評価を受けている項目は、現状に満足することなく、さらなる向上に努めることが必要。
- ・保護者同士の連携支援の行事等は、感染症に配慮した開催方法の検討が必要。

【今後に向けて】

- ・高い評価を受けている項目に関しては、今後も維持向上に努めます。また、職員全体の技術向上の為、次年度は、指導員は北海道通園センター連絡協議会主催の発達についての研修を2回、臨床発達心理士及び北海道立子ども総合医療・療育センターの医師等による専門的な技術支援等を9回程度、感染症や虐待、相談支援に関する研修等各1回以上、随時研修会、学習会の案内があれば参加する予定です。また、コロナウイルス感染症の影響で、研修の回数が減った場合は、センター内研修等の

回数を増やし、資質向上に努めます。

- 保護者同士の連携支援は、コロナウイルス感染症対策を徹底し、3月に年長児保護者と学童保護者合同の学習会を開催する予定です。また、次年度は、就園児、年長児に分けて1回ずつ、全員対象の交流会実施する予定です。
- 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等の周知につきましては、次年度も、現在の掲示方法のほか、保護者交流会や個別の懇談、個別指導時等で説明させていただきます。また、訓練は、今年度参加していないグループが参加できるように計画し、保護者を対象とした救命救急、子どもの誤飲やケガの応急処置等の訓練を予定しています。
- 今後も、コロナウイルス感染症防止のため、保護者の皆様には継続してご協力をお願いしたいと考えております。